YAMAHA

ProjectPhone

PJPシリーズ導入事例 09

株式会社 ゼンショク様

導入機種 → PJP-300V／3台、PJP-VC1／3台
導入時期 → 2007年7月
基本構成 → 社長室と関東・関西の営業本部にPJP-300Vを導入し、顔や映像が見えるメリットを活かしたテレビ会議を実現

会社概要

設立	1991年3月
資本金	2億1,750百万円
従業員	社員:230名　アルバイト:1,500名
事業内容	レストラン経営、スーパー・外食向食肉加工、一般スーパー・外食向食肉卸
事業所	本社(大阪府茨木市駅前1-4-30)、外食事業部(関西営業本部／関東営業本部)、食肉事業部(加工部／営業本部)
外食店舗数	総店舗84店舗(2008年4月現在)
URL	http://www.zensyoku.co.jp/

社長室と関西・関東の営業本部を常時接続し、自然で円滑な「テレビ会議システム」を実現しました。

PJP導入の背景

ビジュアルコミュニケーションのメリットを、社内会議にも応用。

- 営業会議に多大な時間と経費のロス
- 店舗モニタリングシステムから着想
- 3拠点を常時接続するシステム構築

関西・関東地区を中心に、焼肉業態を主とする外食事業と、食肉の卸売・加工の食肉事業を展開するゼンショク様は、2007年7月にヤマハのPJP-300V/PJP-VC1を各3台導入し、拠点間のテレビ会議システムを構築しました。同社の営業拠点は大阪と東京に別れていたため、毎月2回の営業会議開催に多くの時間と経費のロスが発生しており、その削減が当初の導入目的でした。また同社では以前から外食店舗にWebカメラを設置し、PCと携帯電話で各店舗の状況を常時モニタリングできるシステムを構築していましたが、「店内の様子が手に取るようにわかる」というビジュアルコミュニケーションのメリットを、拠点間の会議にも活用しようとしたのです。複数の会議システムを比較検討した結果、ヤマハのPJP-300Vを選定。社長室、関西営業本部、関東営業本部をつなぐテレビ会議システムが実現しました。

PJPを選択した理由

複数のシステムを比較検討し総合評価でPJP-300Vを選定。

- 円滑な会議に不可欠な話者位置検出
- 液晶モニタとの最適マッチング
- 音質・画質・操作性でも高評価

PJP-300Vを選定した理由は、まず話者を瞬時に映し出す「話者位置検出」機能です。出席者が7〜10名になる同社の会議を円滑に行うためには、カメラ切り替え操作が不要であること。そして追尾型のカメラではなく、映像が即座に話者に切り替わるPJP-300Vが最適でした。また専用スタンドを組み合わせることで、既に保有していた液晶モニタを活かして省スペース型のテレビ会議システムを簡単に構築できる点も評価されました。さらにクリアで自然な音質、ネットワークを介しても時差なく自然な会話ができるレスポンスの良さ、簡単で使い勝手の良い操作性の高さなども、PJP-300Vを選定する決め手となりました。「同じ空間にいる感覚で会議ができる」「ノベルティグッズを見せながら意見を聞ける」など、社内ユーザーから高い評価を得ています。

PJP導入の成果

コミュニケーションの質が向上、今後は複数拠点間会議でも活用。

- 相手の表情が見える緊張感と安心感
- 会議の質と頻度が劇的に向上
- 映像共有による深い意思疎通が実現

PJP-300Vを導入した効果について、同社の大石代表取締役は次の3点を指摘します。第1に、相手の顔や表情が見えることで良い意味の緊張感と安心感が生まれ、参加者のモチベーションが非常に高まったこと。第2に、必要な時に、いつでもリアルタイムで、しかも複数人数の相手とコミュニケーションができること。第3に、販促物や商品などを実際に見せながら意見交換することができるので、深い意思疎通が可能になったこと。まさにテレビ会議システムならではの効果といえるでしょう。こうしたPJP-300Vの導入成果をさらに広げるため同社では現在、工場へもPJP-300Vを設置し、複数拠点間の同時接続会議を行うことも検討しています。

(PJP-VC1は、IPテレビ会議用コーデックボックスです。)

ご導入いただいた機種

PJP-300V/PJP-VC1

希望小売価格　367,500円(本体価格:350,000円)
　　262,500円(本体価格250,000円)
JANコード　(B)49 60693 23317 7
　　(B)49 60693 13318 4

アレイマイク16個、アレイスピーカー14個、カメラ3個を搭載した、薄型テレビ向けテレビ会議システムの決定版!

YAMAHA

PJPシリーズ導入事例
株式会社 ゼンショク様

画期的な「話者位置検出機能」、自然な会議を実現する音声と映像、液晶モニタとの最適マッチング。PJP-300Vは、ヤマハの技術の粋を集めた、テレビ会議システムです。

お客様の声

PJP-300Vを導入してから、社内会議のあり方が激変。コミュニケーションの密度が非常に高くなりました。

「PJP-300Vを導入してから、私と社員との距離が縮まったように感じます。また顔が見える会議ができることで、報告書からは読みとれない微妙なニュアンスもわかるようになりました。電話やメール、ファクスも使いますが、やはりテレビ会議は優れている。いつでもリアルタイムに、複数の社員と話せることは画期的ですね。私は時間のある時は、社長室から自動着呼で営業会議に勝手に参加することもあります。社員にとっては良い意味での緊張感にもなっているようです。」

代表取締役　大石 重己 様

販売パートナー様の声

お客様の最先端のニーズを満たすためには、費用対効果が高いヤマハのPJP-300Vが最適機種でした。

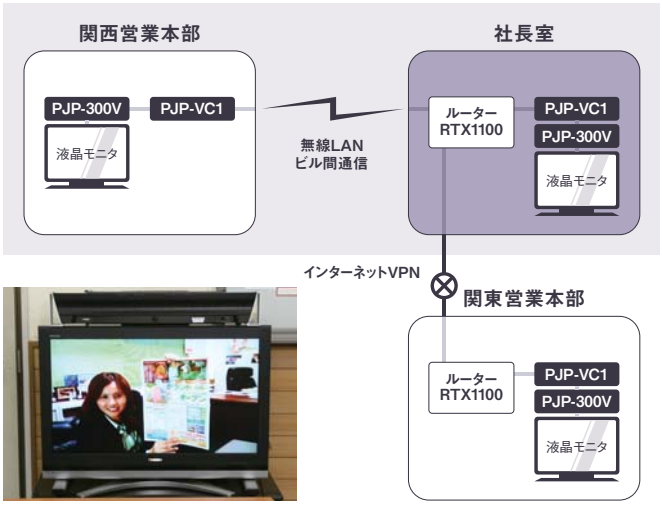
「PJP-300Vを始めて使った時、これはスゴイと思いました。3個のカメラによる撮影方向の切り換えは他に例がない画期的な機能でしたし、音質の良さにも驚きました。さらにファームウェアの提供で、機能がどんどん高くなることもヤマハ様のユーザー重視の姿勢をよく表していると思います。おかげで外食産業のなかで最先端のネットワークシステムを構築でき、いち早くビジュアルコミュニケーションの有効性に着目されていた大石代表のご期待にも応えることができました。」

デジタルマネジメント株式会社　代表取締役　丸山 和宏 様

PJP-300Vの活用方法

3拠点を常時接続したテレビ会議システム。社内コミュニケーションを確実に支えています。

ゼンショク様では、PJP-300Vを社長室、関西営業本部、関東営業本部の3カ所に設置しています。用途としては、社長が毎週1回開催される各営業本部のマネジャー会議（7～10名）へ参加する他、営業本部同士の会議、各種販促物を画面で確認しながらの販促打ち合わせ会議など、非常に頻繁に使われています。これらは、以前から構築されていた店舗を含むインターネットVPNと、無線LANビル間通信により常時接続されており、同社のコミュニケーションを確実にサポートしています。



販促ツールなどもモニタ上で確認できます。

※RTX1100はヤマハ製イーサアクセスVPNルーターです。

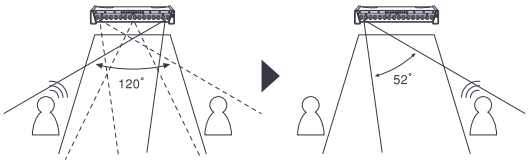
PJP-300Vの特長

話者を瞬時に映し出す「話者位置検出機能」

16個のマイクにより、話者位置を自動的に判別。3個のカメラの切り替えを連動させることで、話者位置方向をカメラが瞬時に映し出します。カメラ切り替え操作も不要。会議のスムーズな進行をサポートします。

収音力に優れ、かつ自然な会話を実現

16個のアレイマイクは、会議室内の音声を約7メートルまで確実に収音。
収音レベルを自動調整し、着座位置に関係なく均一な音量で収音します。
またカメラ・マイク・スピーカー一体型のPJP-300Vをモニタの上部（あるいは下部）に設置して使用するため、モニタ越しの相手に話しかけるような、自然な会話が可能です。



自動切替カメラ機能で話者を瞬時に映し出します。

4地点同時にテレビ会議

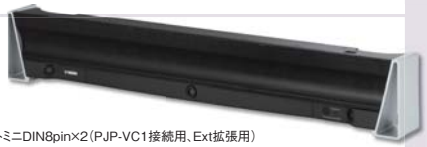
PJP-300VをPJP-VC1と組み合わせることで、多地点接続装置（MCU）なしで4地点まで同時に接続できます。
1台を親機に設定（多地点接続の設定）し、親機で音声と映像をミキシングすることで、4拠点同時接続を可能にしています。

PCと繋いでWeb会議でも使用

PJP-300Vは、PJP-VC1を組み合わせてテレビ会議システムとして使用する以外に、PCと接続してWeb会議システムのカメラ・マイク・スピーカーとしても使用できます。

※PCにS-VIDEO入力端子がない場合は、市販のS-VIDEO入力ができる機器（ビデオキャプチャカードなど）をご用意いただく必要があります。ビデオキャプチャカードについては各社Web会議システムの推奨品をご確認ください。

PJP-300Vの概要



●寸法／822（幅）×84（奥行）×132（高さ）mm　●重量／4.3kg　●電源／AC100V 50/60Hz　●形状／薄型テレビ向けテレビ会議システム
●メインカメラ／130万画素CMOSカメラ×3、視野角:水平56度、ホワイトバランス自動調整　●カメラトラッキング／3方向話者自動切り換え/固定
●マイク／内蔵アレイマイク（16個×1列）（ゾーン収音モード）　●スピーカー／内蔵アレイスピーカー（14個×1列）（指向性制御拡散モード）
●外部インターフェース／オーディオ入出力端子 RCAピン ステレオ、映像出力端子（S-ビデオ端子×1）、Ethernet（10BASE-T/100BASE-TX）×1、シリアルポートミニDIN8pin×2（PJP-VC1接続用、Ext拡張用）

⚠ **安全に関するご注意**　●本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。

YAMAHA
感 動 を ・ と も に ・ 創 る

プロジェクトフォンお客様ご相談センター
■ お電話によるお問い合わせ先　☎053-460-2822　■ FAXによるお問い合わせ先　053-460-2829
ご相談受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00（土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。）
◎会議システム プロジェクトフォンの最新情報はこちら　http://www.yamaha.co.jp/projectphone/

このパンフレットは無塩素漂白（ECF）パルプを使用しています。
このパンフレットは再生紙と大豆油インクを使用しています。

製造元　ヤマハ株式会社　サウンドネットワーク事業部　〒430-8650　静岡県浜松市中区中沢町10-1　2008年4月作成　カタログコード　MPJPD0009